

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年6月25日(2020.6.25)

【公開番号】特開2018-201742(P2018-201742A)

【公開日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-050

【出願番号】特願2017-108871(P2017-108871)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/10 R

【手続補正書】

【提出日】令和2年4月27日(2020.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼に照射された測定光と参照光によるOCT信号を検出するOCT光学系を有し、前記OCT信号を処理することで被検眼のOCTデータを取得する眼科撮影装置であって、

前記OCT光学系における前記測定光のプロファイルを変更する変更手段と、

前記変更手段によって、前記測定光のプロファイルを複数の互いに異なる第1プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、それぞれの第1OCTデータを取得する取得手段と、

を備え、

前記変更手段は、前記取得手段によって取得された複数の前記OCTデータに基づいて、本撮影用のプロファイルとして前記測定光のプロファイルを前記第1プロファイルとは異なる新たな第2プロファイルに変更し、

前記取得手段は、前記第2プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、第2OCTデータを取得することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

請求項1の眼科撮影装置において、

複数の互いに異なる第1プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に照射される前記測定光の光量を同一とする光量調整手段を備えることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項3】

請求項1～2のいずれかの眼科撮影装置において、

前記被検眼に向けて照射光を射出して前記被検眼を照明する照明光学系と、前記被検眼からの反射光を受光する受光光学系と、を有し、前記受光光学系からの受光信号に基づいて被検眼の正面画像を取得する観察光学系であって、前記OCT光学系とは異なる観察光学系と、

前記照明光学系における前記照射光のプロファイルを変更する第2変更手段と、

を備え、

前記第2変更手段は、前記照射光のプロファイルを前記第2プロファイルと同一のプロファイルに変更することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの眼科撮影装置において、
前記変更手段は、DMDであることを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項 5】

被検眼に照射された測定光と参照光によるOCT信号を検出するOCT光学系を有し、
前記OCT信号を処理することで被検眼のOCTデータを取得する眼科撮影方法であって

、前記OCT光学系における前記測定光のプロファイルを変更する変更手段によって、前記測定光のプロファイルを複数の互いに異なる第1プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、それぞれの第1OCTデータを取得する第1取得ステップと、

前記取得手段によって取得された複数の前記OCTデータに基づいて、本撮影用のプロファイルとして前記測定光のプロファイルを前記第1プロファイルとは異なる新たな第2プロファイルに変更する変更ステップと、

前記第2プロファイルに変更した状態で、前記被検眼に前記測定光を照射し、第2OCTデータを取得する第2取得ステップと、

を備えることを特徴とする眼科撮影方法。